



か つ き

志布志市立香月小学校



一年を振り返って

校長 中條 健一郎

本校は、本年度から鹿児島県の研究指定校として、キャリア教育を研究してきた。キャリア教育とは聞き慣れない言葉かもしれない。現在の社会が求める人間像として、1理想を目指せる人間、2変化を生み出せる人間、3基本的なマナーを身に付けている人間等を挙げている。これは、人として社会で生きていくために備えておくべき当たり前の事を指している。



キャリア教育では、学校の全教育活動を通して、この基盤となるものをしっかり身に付けさせようとするものである。いわゆる人として、身につけさせるべき仕付けである。元来、稲を苗床から本田に「仕付ける」ことが語源であり、その後、衣服に「仕付け」をすること（整った基本を作ること）に転じ、人間の育成に転用したものとされている。

「しつけ」には、生活習慣に関すること、礼儀作法など人間関係に関すること、善悪などの価値観や責任感、自立心といった、人としての自立に関わることを育成するなどがある。いわゆる「しつけ」の本来の意味は、「方向づけをする」ことであろうと思う。子どもに「しつけ」をすることは、大人が責任をもって、子どもが独り立ちできるように、人間としての方向づけをするということである。

いよいよ六年生は、香月小学校を巣立っていく。そして、それぞれの学年が、現在の学年を終えるときがやってきた。それぞれに身に付けるべき「しつけ」はできたのだろうか。これから、私たち大人は、地域、保護者、学校が一体となって、ともに子どもたちの成長を見守り続けたいものだ。

「校長先生、桜が咲いてるよ。」「ほんとだ。いつの間に咲いたのだろうか。」子どもたちが教えてくれた。子どもたちが現学年を終了し、新しい春が、また始まろうとしている。



本年度、香月小学校に大きな期待を寄せ、御協力いただいた保護者の皆様、そして、いつも陰ながら御支援を賜った地域の方々に厚く御礼を申し上げますとともに、新たな気持ちで迎える来年度も、より一層の御協力を心からお願いしたい。

を輝かせながら、いろいろな本の楽しい世界に引き込まれていったようです。

来年度、この活動がさらに充実し、読書大好きな香月の子どもたちが増えることを願っています。

グループの皆様、ありがとうございました。

読書の楽しさを伝えたい

読み聞かせグループ「しおさい」の方々に、全学年読み聞かせをしていただきました。



「読書の楽しさを伝えたい」「本に親しむきっかけになれば」という、保護者の方々の思いから、今年度立ち上げての活動でしたが、子どもたちも目

